

セルフモニタリング報告書（令和6年度分）

令和 7 年 4 月 28 日

施設名： 公設地方卸売市場 水産物部
 指定管理者名： マルトマ苫小牧卸売株式会社
 所管課名： 産業経済部 農業水産振興課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
1 事業計画の達成度						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	適正に実施	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。		-	-	-	-	-
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。	これまでの経験を活かし、市場関係者が利用しやすい市場運営に努めた結果、水産物部として過去最高の取扱高を記録することができた。また、新たな取組として、千葉で開催したプロ野球協賛試合でほっき料理を提供したり、大阪の木津市場で屋外イベントに出展するなど、道外においても積極的に市場のPRに努めた。	A	B	C	D	E
自主事業は計画どおり行われたか。	料理コンテスト・東京での販促活動などを実施	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	関係団体と漁港区駐車場清掃等	A	B	C	D	E
2. 利用者の満足度						
利用者の満足が得られているか。	対応できていない部分があるが、概ね良好。	A	B	C	D	E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	概ね良好。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	適切に対応	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	節電、節水等、自社で出来る範囲で職員に周知	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	複数の業者と折衝し最小となるよう努めた。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。		-	-	-	-	-
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	積極的に実施	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	十分配慮している	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正	適		不適		

<p>施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。</p>	<p>適切に処理</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。</p>	<p>適切に管理</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。</p>	<p>適切に処理</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。</p>	<p>適切に実行</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>書類・備品等の管理は適正に行われているか。</p>	<p>適切に管理</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。</p>	<p>適切に管理</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>5 地域貢献</p>						
<p>雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。</p>	<p>地元業者優先</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

職員向けの研修については、営業力向上研修セミナー（社員全員参加3回）や社内新人研修会、ヒューマンエラー的防止講習（全員参加）、コンプライアンス研修（全員参加）等、積極的に行い社員のスキルアップ向上の為の研修を行いました。

実施事業としては、夏休み親子見学会（2回開催）や、冠協賛試合（苫小牧スペシャルナイター）ZOOマリスタジアムでほっきカレー、ほっきシチューを販売しました。また、第3回苫小牧産お魚料理コンテストを実施し、ほっきまつりでは約35,000人に来場いただきました。その他、道外での販促活動として、東京とまこまい会に参加、木津市場（大阪）なんばソトフェスに出展する等、出来る範囲で苫小牧をアピールできたと思います。

安全対策としては、指定管理者として合同火災訓練を実施し、消防、火災予防協会立会のもと、マルチマ、漁組、食堂で避難ルートの確認、消防設備の使い方を学びました。

来年度の取組としては、指定管理者としてHP、X、Facebook、3月からインスタも開始したので苫小牧前浜状況、苫小牧の魅力を発信してPRに繋げていきます。衛生管理については今後も継続して行いますが、施設も老朽化の為、修繕費用が毎年度増加しており、出来る限りの経費削減に努めます。今後は再整備計画策定に協力するとともに、安心・安全な水産市場として機能していきたいと考えます。